昭和100年 1926——2026

令和8年

入館無料

10/10(土) ↓ 11/23(月祝)

9時～16時30分

休館日 月曜日(10月12日・11月23日は開館)
10月13日(火)、11月4日(木)

さいたま市立博物館
第50回 特別展

100年前のさいたま

―大正から昭和へ―



大正15年(1926)に完成した埼玉会館
(『埼玉県名勝史跡写真帖』より)



大正時代の大宮駅東口駅前通り
(『氷川公園大宮名勝絵葉書』(浦和博物館蔵)より)

10/16(金)
ナイトミュージアム
19時30分まで開館します



さいたま市立博物館

さいたま市大宮区高鼻町2－1－2
TEL 048-644-2322　FAX 048-644-2313

さいたま市立博物館ウェブサイト
https://www.city.saitama.lg.jp/004/005/004/005/008/index.html

さいたま市の博物館X(旧Twitter)
https://x.com/SaitamaMuseum

※このチラシは6,100枚作成し、一枚当たりのコストは22円です。

さいたま市立博物館
第50回 特別展

100年前のさいたま

―大正から昭和へ―

令和8年

10/10(土)→11/23(月祝)

9時～16時30分
(10月16日(金)は9時～19時30分)

休館日 月曜日(10月12日・11月23日は開館)
10月13日(火)、11月4日(水)

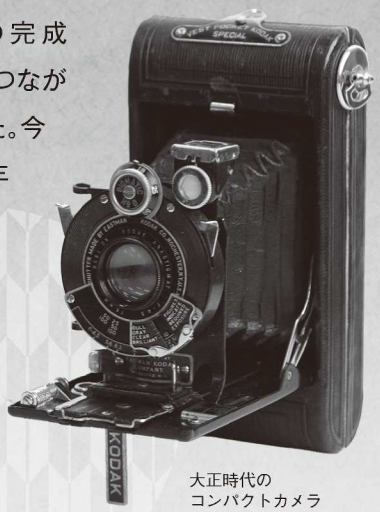




(上) 東京無線電信局岩槻受信所(『埼玉県名勝史跡写真帖』より)
(下) 真福寺貝塚を調査した大山史前学研究所の所員(くにたち郷土文化館蔵)

今からおよそ100年前、元号が大正から昭和に代わるころ、今のさいたま市域にあたる地域はどのような場所だったのでしょうか。

令和8年(2026)は、昭和元年(1926)から数えて100年目にあたり、全国で「昭和100年」記念事業が開催されています。昭和が始まったこのころ、さいたま市域では、大宮盆栽村の開村(1925)、岩槻城跡の県史跡仮指定(1925)、真福寺貝塚での初の本格的な発掘調査(1926)、埼玉会館の完成(1926)、東京無線電信局岩槻受信所の完成(1926)など、現在のさいたま市につながるさまざまな出来事がありました。今回の特別展では、そうした1926年前後のさいたま市域のようすを紹介します。資料や地図、写真などを通して当時を振り返り、現代のさいたま市がどのように形成されてきたのかについて考えるきっかけとしていただければ幸いです。



大正時代のコンパクトカメラ
(当館蔵)

特別展関連講座

①「真福寺貝塚を3回掘った男　甲野勇」
講師／爲國翠子氏(くにたち郷土文化館学芸員)
日時／10月24日(土) 14時～15時30分
申込〆切／10月12日(月・祝)

②「埼玉会館と文教都市・浦和の形成」
講師／青山恭之氏(アトリエ・リング一級建築士事務所)
日時／11月15日(日) 14時～15時30分
申込〆切／11月6日(金)

③「美術でたどるさいたま―浦和絵描きから、いまへ」
講師／松原知子氏(うらわ美術館学芸員)
日時／11月22日(日) 14時～15時30分
申込〆切／11月13日(金)

お申込み方法
いずれも「さいたま市生涯学習情報システム」からお申込みください。
https://gakushu.city.saitama.jp/
定員／各40名(お申し込み多数の場合は抽選を行います)
費用／無料　会場／さいたま市立博物館　講座室

学芸員による展示解説

●10月11日(日) 11時～・14時～
●10月16日(金) 18時30分～(ナイトミュージアム開催中)
●11月3日(火・祝) 11時～・14時～
●11月21日(土) 11時～・14時～
所要時間／各40分程度
費用／無料　お申込み／不要

さいたま市立博物館
さいたま市大宮区高鼻町2-1-2
TEL 048-644-2322　FAX 048-644-2313

さいたま市立博物館
ウェブサイト
https://www.city.saitama.lg.jp/004/005/004/005/008/index.html

昭和100年 1926―2026